



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 東・名
 コード番号 9428 URL <http://www.crops.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小林 正明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部門担当 (氏名)後藤 久輝 (TEL)052(588)5640
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,424	9.0	436	57.4	446	63.4	206	67.3
25年3月期第2四半期	11,399	11.1	277	△41.7	272	△43.8	123	△50.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 251百万円(212.0%) 25年3月期第2四半期 80百万円(△69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 21.49	円 銭 —
25年3月期第2四半期	円 銭 12.83	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第2四半期	百万円 11,649	百万円 3,802	% 30.7
25年3月期	12,162	3,567	27.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,575百万円 25年3月期 3,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.50	円 銭 1.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	25,637	6.3	739	2.2	741	2.3	332	△2.0	34.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	9,597,400株	25年3月期	9,597,400株
26年3月期2Q	485株	25年3月期	403株
26年3月期2Q	9,596,942株	25年3月期2Q	9,611,323株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の推し進める金融・経済政策の効果等により、輸出関連を中心とした企業収益や個人消費に回復傾向が見られたものの、世界経済の減速や新興国の成長鈍化、今後の各種増税政策及び保険料負担の増加等の動向など、先行きに対する不透明感は依然として払拭できない状況で推移しました。

このような経済環境の中、移動体通信事業におきましては、スマートフォンの普及やタブレット端末等のデバイスの多様化、音楽・映像・電子書籍等を中心としたコンテンツサービスの広がり、各種キャンペーンによる料金施策など、顧客獲得に向けた競争が一段と激しさを増しております。

人材派遣事業につきましては、海外景気の下振れ懸念はあるものの、輸出関連の製造業を中心とした企業収益の改善や派遣職種適正化影響の一巡により、受注は回復基調にあります。

ビルメンテナンス事業につきましては、輸出環境改善の恩恵を受ける製造業や公共投資増加の恩恵を受ける建設業等、顧客企業の収益に改善の傾向が見られる一方で、顧客企業のコスト削減意識は依然として強く、値下げ要請による単価の下落や同業他社との価格競争の激化が続いております。

飲食店舗居抜き流通事業につきましては、世帯1人当たり外食支出額の増加等、外食産業の市場規模が拡大に転じており、出店費用を抑制できる居抜き出店、店舗貸借時に信用を補完できるサブリースとも好調に推移しております。

文具事務用品卸事業につきましては、所得環境の停滞が続いたことによる消費者の節約志向の定着により、リーズナブルな商品の需要は堅調に推移している一方で、海外仕入先であるアジア諸国の人件費上昇や円安の影響で、原価率は上昇傾向にあります。

海外事業につきましては、平成25年9月末の携帯電話契約件数(中国)が前年同期比1億2,180万件増加の12億655万件となっており、市場規模の拡大が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高12,424,926千円(前年同期比9.0%増)となりました。損益面におきましては営業利益436,305千円(前年同期比57.4%増)、経常利益446,097千円(前年同期比63.4%増)、四半期純利益206,280千円(前年同期比67.3%増)となりました。

セグメント別の概況は、次の通りであります。

① 移動体通信事業

移動体通信事業におきましては、前第1四半期に発生した800MHz帯周波数再編に伴う新周波数帯対応端末への移行が昨年7月に完了したことを受けて機種変更台数が減少しましたが、スマートフォンの普及が本格化したことに加え、商機を生かした販売促進施策を推進した結果、スマートフォン、タブレット端末等の販売が好調に推移し、売上高としては前期比で増加しております。

損益面におきましては、売上高総利益率の高い周辺商材の販売が増加したこと、スマートフォンの普及に伴い回線系手数料の増加したこと等により売上総利益が増加しました。また、販売促進施策の強化による販売促進費の増加により販売費及び一般管理費は増加しております。

なお、総合的な営業力強化のため、1店舗の移転リニューアル(平成25年9月に「auショップ可児下恵土(岐阜県可児市)」)及び3店舗のリニューアル(平成25年6月に「auショップ四日市笹川(三重県四日市市)」、平成25年7月に「auショップ上小田井(愛知県名古屋市)」、平成25年9月に「auショップ三好南(愛知県みよし市)」)を実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,271,209千円(前年同期比4.1%増)、営業利益は228,447千円(前年同期比101.0%増)となりました。

② 人材派遣事業

人材派遣事業におきましては、スマートフォン、無線LANとの競争激化によりF T T H等光回線販売が減少したものの、輸出関連企業の収益の改善等により、製造業からの業務請負の受注が大幅に増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,080,626千円（前年同期比6.0%増）、営業利益は44,942千円（前年同期比122.4%増）となりました。

③ ビルメンテナンス事業

ビルメンテナンス事業におきましては、大手取引先との良好な取引実績を生かした新規顧客の獲得及び既存業務の再構成と顧客ニーズに合わせた新規業務の提案による総合的な価格競争力の強化により既存顧客の深耕を図るとともに、業務効率の改善及び管理コストの削減・抑制に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,012,800千円（前年同期比16.1%増）、営業利益は125,129千円（前年同期比113.9%増）となりました。

④ 飲食店舗居抜き流通事業

飲食店舗居抜き流通事業におきましては、出店希望の見込める優良物件の獲得に注力したことにより、開店・閉店支援サービスの契約件数、サブリースの管理物件数とも好調に推移しました。

なお、営業能力の向上及び優良物件の情報収集能力向上のため、平成25年4月に池袋営業所（東京都豊島区）を開設しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,189,182千円（前年同期比38.7%増）、営業利益は54,070千円（前年同期比72.4%増）となりました。

⑤ 文具事務用品卸事業

文具事務用品卸事業におきましては、販売は堅調に推移する一方、海外仕入先であるアジア諸国の人件費上昇や円安の影響により原価率が上昇し、採算性が低下しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,902,998千円（前年同期比1.4%増）、営業利益は38,100千円（前年同期比59.8%減）となりました。

⑥ 海外事業

海外事業におきましては、中国上海市において運営するチャイナテレコムショップでの販売が順調に推移しました。損益面におきましては、事業拡大のための先行投資費用等により、営業損失を計上しております。

なお、平成25年5月に同事業で2店舗目となる「チャイナテレコムショップ虹泉路（中国上海市）」を新規出店しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は71,339千円、営業損失は24,119千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.1%減少し、5,987,479千円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金の減少（557,778千円）、商品の減少（212,480千円）、現金及び預金の減少（205,457千円）等があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.4%増加し、5,661,777千円となりました。これは、主としてのれんの減少(34,165千円)等があったものの、差入保証金の増加(349,634千円)、建物及び構築物の増加(27,018千円)等があったことによるものであります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、11,649,256千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.1%減少し、4,575,850千円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金の増加(63,170千円)等があったものの、短期借入金の減少(1,000,000千円)、支払手形及び買掛金の減少(180,586千円)等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.2%増加し、3,270,927千円となりました。これは、主として長期預り保証金の増加(246,197千円)、長期借入金の増加(138,390千円)等があったことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8.7%減少し、7,846,777千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、3,802,478千円となりました。これは、主として利益剰余金の増加(191,885千円)等があったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ196,058千円減少し、1,848,312千円となりました。キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は682,455千円(前年同期比75.1%増)となりました。これは主に差入保証金の増加額(340,365千円)や仕入債務の減少額(180,617千円)等があったものの、売上債権の減少額(559,188千円)や税金等調整前四半期純利益(432,055千円)等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は68,582千円(前年同期比82.3%減)となりました。これは主に差入保証金の回収による収入(12,257千円)等があったものの、有形固定資産の取得による支出(63,355千円)や差入保証金の差入による支出(21,359千円)等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は815,301千円(前年同期比591.4%増)となりました。これは主に、長期借入れによる収入(500,000千円)等があったものの、短期借入金の純減少額(1,000,000千円)や長期借入金の返済による支出(298,439千円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月30日に発表いたしました「第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の通りであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算出しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,212	1,886,754
受取手形及び売掛金	2,869,197	2,311,418
商品	1,477,553	1,265,072
貯蔵品	2,438	2,381
繰延税金資産	166,492	166,492
その他	286,950	356,384
貸倒引当金	△1,275	△1,026
流動資産合計	6,893,569	5,987,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	939,730	966,748
土地	1,764,945	1,764,945
貸与資産(純額)	502	0
その他(純額)	68,099	65,253
有形固定資産合計	2,773,276	2,796,947
無形固定資産		
のれん	172,244	138,079
その他	52,920	47,479
無形固定資産合計	225,165	185,559
投資その他の資産		
投資有価証券	470,735	504,551
差入保証金	1,411,708	1,761,342
繰延税金資産	139,853	139,530
その他	249,112	274,422
貸倒引当金	△577	△577
投資その他の資産合計	2,270,832	2,679,270
固定資産合計	5,269,274	5,661,777
資産合計	12,162,844	11,649,256

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,622,945	1,442,358
短期借入金	2,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	547,079	610,249
未払金	579,686	541,715
未払法人税等	198,784	206,397
賞与引当金	203,563	210,238
役員賞与引当金	6,560	—
その他	494,288	564,890
流動負債合計	5,652,907	4,575,850
固定負債		
長期借入金	1,336,830	1,475,220
退職給付引当金	161,377	163,337
役員退職慰労引当金	8,845	7,315
長期預り保証金	1,116,834	1,363,031
資産除去債務	91,736	94,323
繰延税金負債	17,378	34,591
その他	209,161	133,108
固定負債合計	2,942,163	3,270,927
負債合計	8,595,071	7,846,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,157	255,157
資本剰余金	315,278	315,278
利益剰余金	2,614,963	2,806,848
自己株式	△134	△172
株主資本合計	3,185,264	3,377,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,912	184,225
為替換算調整勘定	3,257	14,390
その他の包括利益累計額合計	172,170	198,615
少数株主持分	210,338	226,751
純資産合計	3,567,773	3,802,478
負債純資産合計	12,162,844	11,649,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,399,765	12,424,926
売上原価	8,798,301	9,453,587
売上総利益	2,601,463	2,971,339
販売費及び一般管理費	2,324,243	2,535,033
営業利益	277,219	436,305
営業外収益		
受取利息	467	460
受取配当金	2,708	5,104
違約金収入	3,217	12,764
固定資産売却益	635	—
貸倒引当金戻入額	566	—
その他	6,847	7,010
営業外収益合計	14,443	25,339
営業外費用		
支払利息	15,085	13,703
固定資産売却損	120	0
その他	3,515	1,844
営業外費用合計	18,721	15,547
経常利益	272,942	446,097
特別利益		
新株予約権戻入益	2,482	—
特別利益合計	2,482	—
特別損失		
固定資産除却損	1,700	6,000
固定資産売却損	—	29
投資有価証券評価損	154	—
賃貸借契約解約損	2,380	8,011
特別損失合計	4,235	14,042
税金等調整前四半期純利益	271,189	432,055
法人税等	138,915	206,917
少数株主損益調整前四半期純利益	132,274	225,138
少数株主利益	8,955	18,857
四半期純利益	123,319	206,280

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	132,274	225,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,693	15,306
為替換算調整勘定	△2,936	11,132
その他の包括利益合計	△51,629	26,438
四半期包括利益	80,645	251,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,773	232,726
少数株主に係る四半期包括利益	8,871	18,850

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	271,189	432,055
減価償却費	64,030	59,936
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△223	△249
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,214	1,959
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	510	△1,530
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,420	6,557
受取利息及び受取配当金	△3,175	△5,564
支払利息	15,085	13,703
固定資産除却損	622	3,802
売上債権の増減額(△は増加)	433,929	559,188
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,827	213,871
仕入債務の増減額(△は減少)	△157,673	△180,617
差入保証金の増減額(△は増加)	△153,372	△340,365
その他	88,600	124,103
小計	469,330	886,849
利息及び配当金の受取額	2,824	5,241
利息の支払額	△15,035	△13,196
法人税等の還付額	26,286	0
法人税等の支払額	△93,563	△196,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	389,841	682,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△388,689	△63,355
有形固定資産の売却による収入	817	50
無形固定資産の取得による支出	△304	—
投資有価証券の取得による支出	△305	△974
差入保証金の差入による支出	△5,342	△21,359
差入保証金の回収による収入	11,026	12,257
その他	△4,156	4,799
投資活動によるキャッシュ・フロー	△386,954	△68,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	300,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△343,399	△298,439
配当金の支払額	△14,441	△14,385
少数株主への配当金の支払額	△2,437	△2,437
自己株式の取得による支出	△7,636	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,915	△815,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,904	5,369
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△117,932	△196,058
現金及び現金同等物の期首残高	1,892,114	2,044,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,774,181	1,848,312

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業
売上高				
外部顧客への売上高	6,026,539	906,195	1,732,272	857,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	113,477	909	—
計	6,026,539	1,019,673	1,733,181	857,456
セグメント利益又は 損失(△)	113,645	20,211	58,511	31,364

	報告セグメント		合計
	文具事務 用品卸事業	海外事業 (注)	
売上高			
外部顧客への売上高	1,877,301	—	11,399,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	—	114,469
計	1,877,383	—	11,514,234
セグメント利益又は 損失(△)	94,734	△10,982	307,485

(注) 中華人民共和国で携帯電話の販売等を営む克龍風速上海商貿有限公司を設立し、連結子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントの区分に「海外事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	307,485
セグメント間取引消去	3,900
のれん償却額	△34,165
四半期連結損益計算書の営業利益	277,219

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメン テナンス 事業	飲食店舗 居抜き 流通事業
売上高				
外部顧客への売上高	6,271,209	978,331	2,011,864	1,189,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	102,295	935	—
計	6,271,209	1,080,626	2,012,800	1,189,182
セグメント利益又は 損失(△)	228,447	44,942	125,129	54,070

	報告セグメント		合計
	文具事務 用品卸事業	海外事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,902,998	71,339	12,424,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	103,230
計	1,902,998	71,339	12,528,157
セグメント利益又は 損失(△)	38,100	△24,119	466,571

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	466,571
セグメント間取引消去	3,900
のれん償却額	△34,165
四半期連結損益計算書の営業利益	436,305